

実施年度	: 2024 (2025 入試) 年度
試験日	: 2025 年 2 月 23 日
入試種別	: 大学院 (修士課程) 入学試験問題
学部・研究科	: 実践真宗学研究科
科目名	: 英語

### 【解答又は解答例】

1

(1) 解答例: 釈尊の弟子である、私、愚禿親鸞にとって、なんとよろこばしいことだろうか。西方インドから伝えられた聖典、中国と日本の祖師方の書かれた註釈書には、遇いがたいのに、今、私はすでに会うことができ、そこに説かれた教えは聞きがたいのに、私はすでに聞くことができたのだ。

(2) 解答例: 善人でさえも浄土に往生できるのです。まして悪人が浄土往生できることはいまでもありません。

(3) 解答例: 浄土教の伝統の始まりは、歴史上のブツダがインドでこの宗教を創始してからおよそ 5 世紀後である紀元前 1 世紀に大乘仏教が興起した頃に遡る。浄土仏教は、大無量寿経、阿弥陀経、観無量寿経の三つの大乘経典に基づいてその教えが説かれる。

2

当該問題は、受験生の今後の研究に必要な英語の作文能力を問うものである。解答が一義的でなく解答例の提示はなじまないことから、採点のポイントを示す。

採点は以下の点を踏まえて総合的に評価する。

- 設問の指示に従い回答していること。

- パラグラフの構成（主張→理由→結論）が論理的であること。
- 一貫した論旨で自身の考えがしっかり述べられていること。
- なお不適切な語彙の使用や文法・スペルなどのミスは減点を行う